

2021年 第3回

# 定例会報告

今定例会で、県民クラブを代表して代表質問に登壇した馬場 林議員（中津市選出）の質問から2点を紹介します。

## 大規模土石流の発生を受けての調査、大分県では…



静岡県の土石流災害対策検討委員会資料から引用

今年7月に静岡県熱海市で大規模土石流が発生し、多くの人や家屋・車などが巻き込まれました。報道によると、静岡県は、「違法な盛土が災害の原因」としています。

この大規模土石流の発生を受けて、本県でも緊急調査が行われました。土木建築部長からは、「土砂災害警戒区域及び山地災害危険地区の内、人家が5戸以上ある箇所の上流部を対象に調査を進めた結果、395か所で最大10万㎡の盛土があったが、異常はなく、産業廃棄物等も混ざっておらず、行政指導が必要なものはなかった。」との答弁でした。

## 全国に公立夜間中学校の設置、大分県では…

公立の夜間学級、いわゆる「夜間中学校」は、戦後の混乱期に学べなかった人たちのために昭和20年代に設けられていました。最近では、不登校や家庭の事情等で義務教育を受けられなかった人や外国籍の人など、様々な方の学びを保障する機関として、その役割への期待が高まっています。

今年1月には、衆議院予算委員会において、菅総理は、「今後5年間で全ての都道府県・指定都市に夜間中学校を少なくとも1つ設置することを目指す」と述べています。

現在、公立夜間中学校は12都道府県に36校。多くは東京や大阪に集中しており、九州・山口・沖縄はありませんでしたが、福岡市では来春開校と9月議会で決まりました。

県教育長は、「『夜間中学検討会議』で複数回アンケートを実施したが、入学対象者と思われる方はごく少数。引き続き、他県の動向も注視し、市町村と協議しながら検討していきたい。」と答弁しました。



夜間中学のドキュメンタリー映画「こんばんはII」

## 九州で唯一、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の要請をしなかった大分県

第5波のピークとなった8月中旬、広瀬知事は九州で唯一、国に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の要請をしませんでした。

その理由として、1つ目に宣言や措置が適用されると時短の強制と罰金を課すことができますが、大分県ではすでにほとんどの店舗が時短に協力していることをあげています。2つ目は、大分県では、飲食店での感染拡大よりも家庭内での家族感染が一番大きな原因となっていることを要請しない理由としています。さらに、宣言や措置が適用されると様々な規制が発生し、県の独自対策を進めるのが難しくなると知事は説明しています。

そういう意味でいうと、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置だけに頼るのではなく、県の独自対策を進めて感染状況を落ち着かせたいという知事の姿勢も理解できます。

確かに、大分県では、感染防止対策や医療提供体制の拡充は他県と遜色なく進められ、入院を希望しながら入院できなかった方は今のところいません。

しかしながら、宣言や措置を要請しないために「危機感」が薄れるということもあるでしょうし、他県から「大分県は安全だから行こう」と考える方もいるかもしれません。

この件に関して、今定例会での一般質問や委員会で質問・意見が出ましたし、私の所にも多くの御意見が寄せられました。そのほとんどが「なぜ、大分県は要請しないのか」「大分県は危機感がないのではないか」という指摘でした。

今回、一番の問題は、知事の思いや対策方針が県民にきちんと伝わっていないことにあったのではないかと考えています。

小池・東京都知事や吉村・大阪府知事のように、連日、テレビで取り上げられるという機会は少ないにしても、例えばYouTube等で発信するなど、感染対策など重要な案件は自ら丁寧に発信していくことが必要なのではと感じました。

### 原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

私のHPIにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

<http://www.ctb.ne.jp/~harada/>

大分県議会議員 原田たかし

検索

